

表題

大腸癌肝転移データベース合同委員会活動報告 2016年3月

緒言

本委員会は大腸癌研究会および日本肝胆膵外科学会の合同で組織され、全国規模の大腸癌肝転移患者データベースを構築し、大腸癌肝転移に関する研究の推進ならびに診療・治療の進歩・標準化を図ることを目的としています。大腸癌研究会参加施設および日本肝胆膵外科学会高度技能修練施設を対象に参加を募り、独自に作成したファイルメーカーを用いたデータベースファイルを使用して2014年より大腸癌肝転移症例の登録をスタートしました。

1. データの登録状況

個人情報保護のために、すべてのデータはデータ元の各施設においては連結可能な匿名化コードを用いて、匿名化したデータのみを事務局で収集し登録しました。登録施設名は表1の通りです。

① 2014年度 登録作業

2005-2007年および2013年の大腸癌肝転移症例の登録を同時に行いました。

2005-2007年の大腸癌肝転移症例については、2014年1月から開始し12月末日到着分までを登録しました。登録施設数は127施設(診療科総数134科)で、重複例を除いた登録データ総数は3,820例でした。

2013年の大腸癌肝転移症例についても、2014年1月から開始し、12月末日到着分までを登録しました。登録施設数は135施設(診療科総数142科)で、重複例を除いた登録データ総数は1,630例でした。なお、2013年分については、2014年分と合わせて集計作業を行う予定ですので、2014年12月末日以降の到着分も含めるための作業を行っていますので、暫定的な集計値です。

② 2015年度 登録作業

2014年の大腸癌肝転移症例の登録を行いました。2015年1月から開始し2015年12月末日到着分までの登録施設数は102施設(診療科総数106科)で、重複例を除いた登録データ総数は1,362例でした。なお、2016年1月の到着分も含めるための作業を行っていますので、暫定的な集計値です。

登録施設名 (総数 157施設・診療科)

北海道がんセンター、札幌医科大学 第一外科、勤医協中央病院 外科、北海道大学病院 消化器外科 II
札幌医科大学 第四内科、札幌医科大学 第一内科、札幌道都病院、青森県立中央病院、札幌厚生病院 外科、弘前大学、秋田大学 消化器外科、市立秋田総合病院、岩手医科大学、岩手県立中央病院、宮城県立がんセンター、山形大学、東北大学病院、福島県立医科大学 器官制御外科、群馬大学大学院 病態総合外科学、自治医科大学、栃木県立がんセンター、獨協医科大学 第一外科、済生会宇都宮病院、茨城県立中央病院、埼玉県立がんセンター 消化器外科、防衛医科大学校、深谷赤十字病院、埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科、さいたま市民医療センター、君津中央病院、千葉県がんセンター、帝京大学ちば総合医療センター 外科、東京歯科大学市川総合病院、順天堂大学附属浦安病院、都立駒込病院、東京大学附属病院 肝胆膵移植外科、東京医科歯科大学 腫瘍外科、がん研有明病院、日本医科大学附属病院、東邦大学医療センター大森病院消化器センター 外科、帝京大学外科、東京厚生年金病院、東京大学附属病院 大腸肛門外科、東京女子医科大学 消化器病センター、順天堂大学 大腸肛門外、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、昭和大学 消化器・一般外科、東邦大学医療センター大橋病院 外科、杏林大学、東京山手メディカルセンター、東京慈恵会医科大学附属病院、三井記念病院、日野市立病院、東京女子医科大学 第二外科、自衛隊中央病院、東京医科歯科大学 肝胆膵外科、昭和大学藤が丘病院 消化器一般外科、国際医療福祉大学三田病院、慶応義塾大学病院、日本大学消化器外科、都立広尾病院、北里大学東病院、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学、神奈川県立がんセンター、関東労災病院、横浜旭中央総合病院、厚生連長岡中央総合病院、新潟大学医歯学総合病院、新潟市民病院 消化器外科、石川県立中央病院、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、福井県済生会病院、福井大学 第一外科、山梨大学医学部 第一外科、聖隷浜松病院、静岡県立総合病院、特定医療法人社団松愛会松田病院、浜松医科大学 第二外科・肝胆膵外科、磐田市立総合病院、藤田保健衛生大学病院、刈谷豊田総合病院、名古屋第一赤十字病院、藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院、豊橋市民病院、愛知医科大学消化器外科、岐阜県立多治見病院 外科、松波総合病院、岐阜大学 腫瘍外科、岐阜県総合医療センター、三重大学消化管・小児外科、三重大学 肝胆膵・移植外科、滋賀県立成人病センター、大津赤十字病院、京都府立医科大学、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都医療センター、近畿大学 外科、ベルランド総合病院、国立病院機構大阪医療センター、大阪大学医学部附属病院、市立豊中病院、大阪労災病院、関西医科大学附属枚方病院、大阪市立総合医療センター、大阪市立大学病院 腫瘍外科、大阪医科大学、市立堺病院(2015年から堺市立総合医療センターに改名)、地方独立行政法人りんくう総合医療センター、近畿大学医学部堺病院 外科、市立吹田市民病院、大阪市立大学病院 肝胆膵外科、市立岸和田市民病院、明和病院、公立学校共済組合 近畿中央病院、兵庫医大 下部消化管外科、姫路中央病院、神戸大学 肝胆膵外科、関西労災病院、兵庫県立がんセンター、神鋼病院、神戸市立医療センター中央市民病院、奈良県立医科大学 消化器

総合外科、和歌山県立医科大学 第二外科、倉敷中央病院、岡山済生会総合病院、岡山医療センター、川崎医科大学、岡山東ろうさい病院、岡山大学病院 呼吸器・乳腺内分泌外科、国立病院機構福山医療センター、県立広島病院、呉医療センター、福山市民病院、広島市民病院、島根大学医学部 消化器・総合外科、山口大学大学院 消化器・腫瘍外科、独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター、香川大学医学部附属病院 消化器外科、徳島大学病院、市立宇和島病院、愛媛大学、高知大学、高知医療センター、国立病院機構 九州がんセンター、国立病院機構九州医療センター、産業医科大学病院、福岡市民病院、久留米大学、福岡大学病院、九州大学 消化器・総合外科、大分赤十字病院、大分大学、国立病院機構別府医療センター、佐世保市立総合病院、長崎大学 移植・消化器外科、長崎医療センター、熊本大学 消化器外科、熊本赤十字病院、済生会熊本病院 外科センター、熊本市医師会 熊本地域医療センター、高野病院、宮崎大学 腫瘍機能制御外科、鹿児島大学 消化器外科

肝転移診断年度	2005-2007	2013	2014
診療施設総数	127	135	110
診療科総数	134	142	114

2. データの精度管理作業

① 欠損値の追加入力可否の確認依頼：

データの登録にあたり、年齢、性別、最終予後確認日、予後、肝転移個数、肝腫瘍最大径の6項目を登録必須項目とし、参加施設より送付されたデータを事務局で確認し、これらの項目が欠損する場合は、修正入力を依頼しました。そのほか、非匿名化データの送付例、文字化け症例、登録年度の誤りなどに対して、適宜修正を依頼しました。

② 重複データのチェック：

施設の内外を問わず登録症例間で匿名化コードが一致した場合は重複した同一患者データである可能性があるため、施設内重複データは重複例の一方を削除するよう当該施設の両科に依頼しました。施設が異なる場合は当該施設間での紹介症例であるか否かを当該施設に確認しました。重複症例であることが判明した場合は、重複した両方の当該施設に匿名化されたままの状態を双方のデータを紹介し、最も正しいデータとなるよう修正を依頼しました（2005-2007年および2013年症例では17例が施設間で重複していました）。

3. 集計結果の公開

ここには 2005-2007 年（総数 3,820 例）分の集計結果の一部を掲載いたします。今後、当委員会では、登録データを活用して大腸癌肝転移に関する研究の推進ならびに診療・治療の進歩・標準化を図るための活動を実施する予定です。また、登録施設の皆様にもそういった研究活動に積極的に参加して頂けるよう、その具体的な方法について大腸癌研究会および日本肝胆膵外科学会の当該する各委員会において検討を進める予定です。

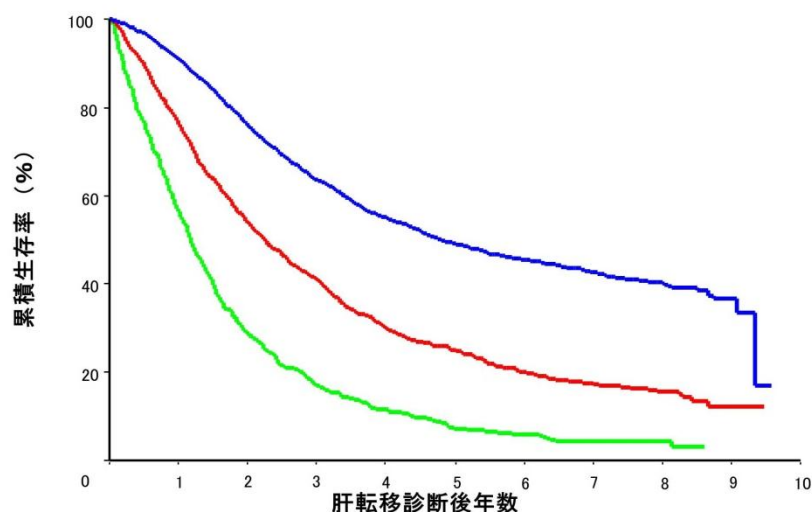
表2 登録患者背景（総数 3,820 例）

	n	(%)
年齢		
(平均)	64.6 ± 0.2	
(分布)		
21-30	17	(0.4)
31-40	87	(2.3)
41-50	265	(6.9)
51-60	929	(24.3)
61-70	1286	(33.7)
71-80	1032	(27.0)
81-90	188	(4.9)
91-100	16	(0.4)
性別		
男性	2,364	(61.9)
女性	1,456	(38.1)
肝転移の時性		
同時性	2,410	(63.1)
異時性	1,409	(36.9)
不明	1	(0.0)
肝局所治療[†]の有無		
あり	2,287	(59.9)
なし	1,533	(40.1)
初回肝局所治療内容		
肝切除 (+ Ablation)	2,207	(57.8)
Ablation	80	(2.1)
肝転移に対する肝切除		
あり*	2,225	(58.2)
なし	1,594	(41.7)
不明	1	(0.0)
原発巣切除		
あり	3,500	(91.6)
なし	319	(8.4)
不明	1	(0.0)

[†]肝局所治療：肝切除、Ablation(RFA, MCT など)の肝転移巣局所制御を目的とした治療を総称して肝局所治療とした。ただし肝動注治療はこれに含まない。

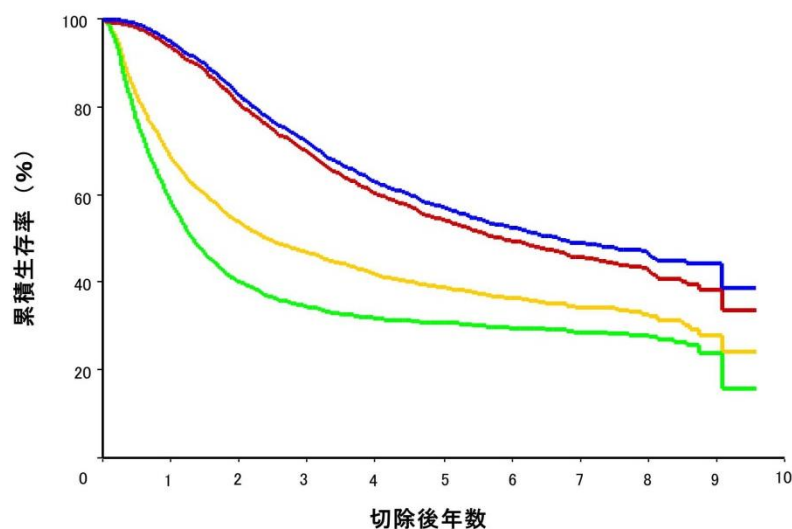
*うち 18 例は初回に RFA 施行

図1 肝転移診断後の生存曲線 (H分類別、切除の有無を問わない) (総数 3,820 例)



累積生存率 (%)		1年	3年	5年	7年	9年
—	H1	90.7	63.5	49.2	42.5	36.6
—	H2	76.5	41.0	24.9	17.4	12.4
—	H3	56.7	17.0	7.2	4.4	

図2 肝切除術後生存曲線 (総数 2,225 例)



累積生存率 (%)		1年	3年	5年	7年	9年
—	癌特異的生存率	95.2	72.1	57.3	49.3	44.4
—	全生存率	93.9	69.9	54.5	46.0	38.5
—	残肝無再発生存率	68.5	47.0	39.2	34.5	28.1
—	無再発生存率	58.5	34.7	31.1	28.8	24.0

大腸癌肝転移データベース合同委員会
 委員長 高橋慶一 (都立駒込病院外科)
 副委員長 山本雅一 (東京女子医大消化器外科)

事務局

〒113-8677 東京都文京区本駒込3丁目18-22

がん・感染症センター 都立駒込病院外科内

電話 : 03-3823-2101

FAX : 03-3824-1552

E-mail : crlm@cick.jp